

# 源平の時代を視る

—二松學舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』を中心に—

## ◆第3回公開ワークショップ◆

### 小山 聡子

(二松學舎大学文学部准教授)

筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科修了。博士(学術)(筑波大学)。  
浜松医科大学医学部専任講師、リュブリャナ大学文学部客員教授等を経て現職。  
専門は、中世宗教文化史。

主な著書および論文に、『護法童子信仰の研究』(自照社出版、2003年)、『親鸞の信仰と呪術—病氣治療と臨終行儀—』(吉川弘文館、2013年)、『存覚と自力信仰』(『日本歴史』765、2012年)、『覚如と呪術信仰—治病と臨終に対する姿勢をめぐって—』(今井雅晴先生古稀記念論文集編集委員会編『中世文化と浄土真宗』思文閣出版、2012年)、『晩年の存覚と『看病用心鈔』の書写』(『日本医史学雑誌』58-3、2012年)等がある。

### 磯 水絵

(二松學舎大学文学部教授)

二松學舎大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(文学)(二松學舎大学)。  
早稲田大学文学学術院非常勤講師・上野学園音楽史研究所共同研究員。

専門は平安後期・鎌倉期の説話文学(特に音楽説話)、随筆。日本音楽史学。

主な著書および編著に、『説話と音楽伝承』(和泉書院、2000年)、『続古事談』(共著、おうふう、2002年)、『院政期音楽説話の研究』(和泉書院、2003年)、『『源氏物語』時代の音楽—中世の楽書から—』(笠間書院、2008年)、『大江匡房—碩学の文人官僚—』(勉誠出版、2010年)、『論集 文学と音楽史 詩歌管絃の世界』(和泉書院、2013年)、『今日は一日、方丈記』(新典社、2013年)等がある。

### 松尾 葦江

(國學院大学文学部教授)

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)(東京大学)。

鳥取大学教育学部助教授、椋山女学園大学人間関係学部教授等を経て現職。

専門は中世日本文学、特に軍記物語。

主な著書および論文に、『軍記物語原論』(笠間書院、2008年)、『源平盛衰記 五』(三弥井書店、2007年)、『軍記物語論究』(若草書房、1996年)、『資料との「距離」感—平家物語の成立流動を論じる前提として—』(『國學院雑誌』114-11、2013年)、『源平盛衰記の「時代」』(『國學院雑誌』112-6、2011年)、『流動する物語を読むということ』(『国語と国文学』85-11、2008年)等がある。



【お問い合わせ先】  
二松學舎大学東アジア学術総合研究所  
〒102-8336 東京都千代田区三番町 6-16  
TEL: 03-3261-1354 FAX: 03-3261-1368



# 源平の時代を視る

—二松學舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』を中心に—



## ◆第3回公開ワークショップ

2014年

2月22日(土)

二松學舎大学九段校舎1号館201教室

この共同研究プロジェクトは、磯水絵、小井土守敏、小山聡子の三人が進めている。本プロジェクトでは、現在まで広く公開されてこなかった二松學舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』の紹介をし、歴史的にどのような位置づけができる作品であるかの解明をすることを目的としている。

午後1時 受付開始

午後1時30分

開会の辞 **高山 節也** (二松學舎大学文学部教授)

午後1時40分～午後2時40分

講演：**小山 聡子** (二松學舎大学文学部准教授)

「牛車の中の生首  
—信西の大路渡図からみる二松本の特性—」

午後2時40分～午後3時40分

講演：**磯 水絵** (二松學舎大学文学部教授)

「雷神図について—雷神の変容—」

休憩時間 20分

午後4時～午後5時

講演：**松尾 葦江** (國學院大學文学部教授)

「源平盛衰記と絵画資料—絵巻を中心に—」

午後5時

閉会の辞 **磯 水絵** (二松學舎大学文学部教授)

### 奈良絵本の展示

2月3日(月)～2月28日(金)に、二松學舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』の展示を、本学九段校舎2号館1階の大学資料展示室で行いますので、ご覧ください(但し、日曜・祝日・2月20日は閉館。開館時間は午前10時から午後4時まで)。

※事前のお申し込みは不要です。奮ってご参加ください。

※裏面に講演者のプロフィール、会場案内図があります。



二松學舎大學

【お問い合わせ先】

二松學舎大学東アジア学術総合研究所

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16 TEL: 03-3261-1354 FAX: 03-3261-1368